

2010年11月24日

岐阜県知事 古田 肇 様

長良川市民学習会 代表 粕谷 志郎  
徳山ダム建設中止を求める会 代表 上田 武夫  
河口堰に反対し長良川を守る岐阜県民の会 代表 山内 克典  
NPO 法人藤前干潟を守る会 代表 辻 淳夫  
長良川水系・水を守る会  
NPO 法人ギンプナの会 代表 後藤 宮子  
長良川河口堰建設に反対する会・岐阜 代表 高木 久司  
板取自然探索・山童 会長 長屋 泰郎

## 河川行政に関わる緊急要請書

日頃の県政推進のご努力に敬意を表します。

起債許可団体に転落した岐阜県財政のもとで、福祉など生活関連予算が大幅に削られ県民は厳しい我慢を強いられています。こうした中、先の県議会において、貴職は「内ヶ谷ダムを優先で検討し、来春をめどに、事業を継続するかどうかの対応策をまとめる」との表明をされました。県民は公共事業の大きなツケがまたまた押し付けられないか不安を抱いています。私たちは、内ヶ谷ダム建設は不急の公共事業であり貴職の事業中止の判断を求めます。

木曾川水系連絡導水路事業は、「凍結」のまま再検討の対象事業に指定され、貴職にも事業に対する意見が求められることになりました。本事業につきましては、国も認識しているとおり一般市民に対する事業そのものの説明が終わっていません。県民はこの事業に大きな疑問を持ったままです。このような事業はいったん白紙に戻すべきものであり貴職の「白紙撤回」の意見表明を求めます。

また、本年6月に開催された「全国豊かな海づくり大会・ぎふ長良川大会」を契機に長良川河口堰のゲート開放を求める県民世論が高まっています。河口堰による環境の悪化は深刻です。漁獲高激減のもと流域7漁協が「堰の試験開放を求める」要望書の取りまとめの動きも報道されています。ゲート開放という県民の切実な要求を受け止め貴職が国に働きかけることを求めます。

COP10（生物多様性条約第10回締約国会議）が名古屋市で開催された本年、長期間にわたって長良川（今川、関市）が涸れたままとなり、川のいきものたちが生きられない状態が続いています。木曾川水系連絡導水路事業など「河川環境改善」を看板に巨額の公共事業が進む一方で、今川の現在の状況について何の説明もされない県当局の姿勢に、地域住民は大きな疑問と不安を抱いています。「涸れた今川」の状況と対策の説明を求めま

す。

以上の要求の趣旨と責職の説明責任を求める立場から開かれた意見交換の場の設定を求めるとともに、以下列挙しました要請事項について具体的な御回答をお願いいたします。

## 記

- 1 「最優先で検討する」としている内ヶ谷ダムについて、その事業の中味をきちんと説明すること。県民への説明が不十分なままに「来春までに検討結果を出す」などと時間を区切らないこと。
- 2 木曾川水系導水路事業計画を白紙に戻すことを、国に意見表明すること。  
水資源機構が行うとされる「検討」が、透明性・公開性が担保されるものであることを、岐阜県として強く要求すること。
- 3 長良川河口堰のゲート試験開放に向けた働きかけをすること。  
「長良川河口堰運用15年」に関する県民（特に流域住民）の意識をしっかりと受けとめる場を丁寧に設けること。
- 4 「涸れた今川」の状況説明と対策について必要資料を揃えて説明すること。

以上。

(連絡先) 長良川市民学習会 武藤 090-1284-1298  
mutohitoshi@yahoo.co.jp